

# OSK KHJ岡山きびの会

平成 12 年 9 月 20 日 第 3 種郵便物認可(毎月 25 日発行)

平成 26 年 6 月 22 日 OSK 増刊通巻 202 号

<http://kibinokai.ciao.jp> 「メッセージ・21」

第 129 号(平成 26 年 6 月)



## 『KHJ 岡山きびの会』のご案内

2014 年度 年 会 費 正会員 6000 円 賛助会員 3000 円

月例会参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1000 円

郵便振込先 01380-6-77803 KHJ 岡山きびの会

※ご入会・ご寄付は随時受け付けております。

連絡先 会長 榎谷 富子 〒702-8002 岡山市南区福成 1-128-4 【電話】090-2094-9589

居場所 岡山市北区表町 1 丁目 4-64 上之町ビル 4 階 (市電・城下電停すぐ、アーケードに隣接)  
月・水・土曜：午前 11～午後 4 時、金曜：午後 1 時～6 時 (詳しくは巻末をご覧ください)

## 「KHJ 岡山きびの会」のお願い

不登校・ひきこもりの子どものことで悩んでいる親どうしが情報を交換し、親の気持ちが癒され、元気づけられ、「この子がいてくれて本当に良かった」と心から思えるようになることを目指します。そして本人たちが自分の意思と選択と決定において生き生きとして社会参加できるようになることを支援します。

## グループでの話し合いの約束

- ここでの話はここだけのことにしましょう。
- 相手の話は受容しながら聴きましょう。
- 非難・批判はしないようにしましょう。
- 長く会に参加している人は新しい人に手をさしのべましょう。

## <6 月例会のお知らせ>

日 時 平成 26 年 6 月 8 日（第 2 日曜日）午後 1:30 時～5 時  
場 所 きらめきプラザ 2 階 ゆうあいセンター 大会議室全室  
岡山市北区南方 2 丁目 13-1 電話: 0 8 6 - 2 3 1 - 0 5 3 2  
内 容 ●演題 若者の就労支援  
講師 ピアサポーター 山口 雅臣 さん  
  
●ひきこもり相談会（役員による来談者へのオリエンテーション）  
参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1,000 円

## <7 月例会のお知らせ>

日 時 平成 26 年 7 月 13 日（第 2 日曜日）午後 1:30 時～5 時  
場 所 きらめきプラザ 2 階 ゆうあいセンター 大会議室全室  
岡山市北区南方 2 丁目 13-1 電話: 0 8 6 - 2 3 1 - 0 5 3 2  
内 容 ● 演題 待つ事の大切さ難しさ  
講師 日本教育カウンセラー協会 上級カウンセラー  
松田 勝先生  
  
●ひきこもり相談会（役員による来談者へのオリエンテーション）  
参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1,000 円

## ● ひきこもる人たちの思い(埋もれたトラウマ) ●

～地域で支えていくために何ができるか～

フリージャーナリスト 池上 正樹

始めまして、池上と申します。今日は母の日ですが、私の母は震災の直前に亡くなっております。あらためて、親の存在・ありがたさをかみしめております。私は取材で被災地を何度も行き来しており充分なことができなかつたのが心残りです。今日は母の日ということで少し話がそれてしまいました。

私は17年前から、ひきこもり現象の取材を続けています。そのきっかけは当時何もしゃべらない中学生に出会ったことです。当時はひきこもりという言葉さえありませんでしたし、初めて出会った現象なのである意味びっくりしましたが、半分はああさうだろうな、もっと大勢いるんだろうなとも思いました。

実は私自身が小学校6年間学校では全く何もしゃべることが出来ませんでした。家に帰ると親とは普通にしゃべることが出来るのですが、そのときは自分だけがそうなのかと孤立して悩んで苦しんで死にたいと思うこともありました。

最近になって知ったことですが、場面緘黙症(ある場面になるとしゃべれなくなる)という症状で現在では家族会や当事者会があるそうです。

もし其の当時知っていれば仲間の人がいることが分かっていたら、気が随分楽だったと思います。当時は不登校・ひきこもりという選択肢もありませんでした。そういった情報があれば不登校やひきこもりをしていたかなとも思っています。もっと情報や適切なノウハウ・アプローチをしてもらえたらよかつたのにと。

今に至るまで生きづらさ感じるというのは、そのときの経験があるのかなと思います。誰も見向きもしないひきこもりをとりあげる、きっかけは仕事ですが、ライフテーマとして問題を追いかけて、いろんな人に会いたい、半分は仕事、半分はライフテーマとして、今日まで数百人の当事者に会ってきました。毎日電話・メールでやり取りをしています。これは仕事抜きでもやらざるを得ないと、出来る範囲ですが取り組んでおります。

先ほど、Kさんからサンデー毎日の記事がきっかけになったというお話がありましたが、私の記事がきっかけでアプローチできたりカミングアウトされたり、あるいは外に出られるきっかけになったというような、お話しをたくさん聞いております。わたしはどちらかというところ、きっかけを作る役割なのかなと思っています。

現在ひきこもり問題の専門家という人はたくさんおられますが、私は本人の思いや苦しみ・どうしてほしいかなど、話を聞かせてもらって、受け売りのようなかたちで当事者に向き合い、当事者目線で話したり記事を書いたり、本を出したりしています。ひきこもりは、あまやかしや個人の問題ではなくて、社会問題であることを知ってほしいと思います。私は話すことが苦手ですが呼ばれば行きますし、あるいは自分から呼びかけてイベントをしたりしています。2009年からダイヤモンドオンラインで「引きこもり」するオトナたちを連載しています。アクセス数が多いときには100万件を超えます。ひきこもり関係者・メディア・当事者・家族等が読んでくれています。そこでのメール相談は当事者が多く、仕事をしたい・社会に出たい・普通になりたい・常識を持ちたいなどの声が圧倒的に多いです。

彼らは怠けているのではなくて、好き好んでひきこもっているのではないことを知ってほしい。何とかしたい・自立の方法が分からない・家の中でも外に出ても誰とも交わらない。孤立した世界の中でどこにも居場所が無くてたまたまこれを見つけてメールをくれたりアクセスしてくれているのだ

と思います。その数があまりにも多いので総てには返事できていません。緊急度の高そうな人から優先的にお返事したり、中にはお会いしたいと連絡することもあります。

沖縄から北海道の離島までいろんなところからアクセスがあって、中でも離島に住んでおられる方なども場合どこにも行くところがないといった切実な叫び声もあります。

これは、あるサポステの例ですが、相談に訪れた人に対して始めは、丁寧に相談に乗ってくれるのですがその内に就労の目標に当てはまらない人には、ほかの場所を紹介するとか、病院にといった対応に変わったとかの声を聞きます。国は何人受け入れてそのうち何人が就労できたか、結果だけを求め、ノルマ化しているからです。ですので委託を受けたNPOも、就労数値を上げるために、就労できそうな人を受け入れるが、就労が難しい人は受け入れない。といった本人の思いと合わない、ひきこもりの特性に合わない支援になっているのではと思います。

一橋大学の宮地教授が『トラウマ』という本の中でカルデラのように、図式化していますが、ひきこもりについても、それが当てはまると思います。つまり円の中心に沈黙の内海（当事者）がおり、その外側（内斜面）にはひきこもりを経験した発信者がいる。その外側（外斜面）には家族・支援者がいる。

そしてその外側に社会が会社・無関心層がいます。

そういった構成の中で、私たち支援者・親の会などは、何を目標せばいいのでしょうか。

一つの方向性として、東京で取り組んだフューチャーセッションの中から、当事者の声として「ひきこもり大学構想」が立ちあがって来ました。

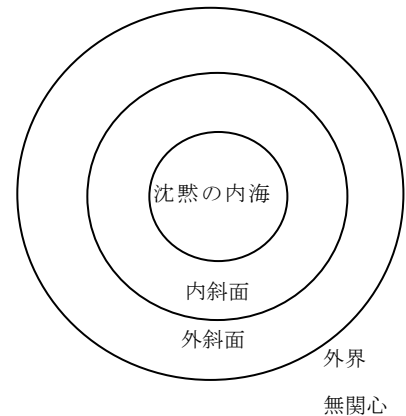
全くの当事者目線・発想から、「生きていたいと思うようになりたい」学科という集まりができて、参加者に非常に大きな感銘をあたえました。

昨年福岡で「変わっていてもいいよね」学科、神戸では「ひきこもり経済学」が取り組まれました。

また、「ひきこもりカフェ」に参加したことがきっかけになって、自分で定期的に「ひきこもりカフェ」を立ち上げた人も出てきたりもしました。

ひきこもっている当事者は外に出たい・何か役に立ちたい・社会とつながりたいと思っています。それに対し私たちは、上から目線ではなく、フラットな立場から問題点を教えてもらうという姿勢。つながれるところから声を掛け合う。安全・安心な当事者同士がつながれる場所の提供。活動が出来やすい環境を作ると共に、彼等の一人ひとりが持っている能力が生かされる機会・チャンスを準備しておく。そしてきっかけを作っていく。ことが、必要なのではないのでしょうか。

(講演内容の一部を掲載しておりません、ご了承下さい。)



いかがでしたか、感想・ご意見を聞かせてください。

ジャーナリストの講師は初めての受講です。多種多様なひきこもり事例とその生きた対応を聴講して、心に響くものが多く感じました。ひきこもり大学の立ち上げにより、今後の若者に希望が持てる活動に期待しています。

いかがでしたか、感想・ご意見を聞かせてください

『答えを持っているのは当事者であり、当事者に聞くしかない』というお話は、なるほどなど強く思いました。子供が大学を卒業してひきこもりになっているのですが、どう教えてよいか分からない状況です。そんな中、考えるヒントをいただいたように思いました。

# お知らせ掲示板

## 居場所活動の読書サロン

本を読み始めて早1年になります。  
文学少女シリーズも本編を終了。雑談を楽しみに来所してくれる友人たちも増えました。

来月からは文学少女シリーズの短編集を続ける予定ですが希望の本がありましたらメッセージコーナーへ書いてください。

### 連絡先

槌谷 富子 090-2094-9589

## NPO法人津山・きびの会

5月12日・前日の講演会終了後、津山トトロの家に池上さんをご案内しました。その夜は岡山からの若者と明け方近くまで語り合い、そのお人柄にますます惹かれました。当日は、初の来訪者7人を加えてトトロの家では、池上さんの話を聴きつつ思いのたけを語り合う懇談会(参加者24名)となりました。

初めて親の会参加の父親からは、子どもから学んでいることが語られました。それぞれに感動の時間となりました。感謝です。

トトロの家 (0868-23-0028) の住所  
708-0863 津山市小桁137-2  
連絡先 川島焔三 (090-7541-5263)

## 「東備・きびの会」のご案内

開催場所は次のとおりになります。

場所：赤磐市山陽3丁目3-6

雨宮さん宅

開催日：第一火曜日、第二火曜日

第四火曜日 10時～15時ごろまで

「引きこもり相談会」・電話相談も行っております。

お気軽にどうぞ。

連絡先：石橋洋子

携帯 090-2807-7418

## パソコン教室開講中です。

ワード・エクセルなどをじっくり楽しく学びます。

原田講師からゆっくりと丁寧に指導いただきます。

開催日：第4月曜日 午前10時～12時30

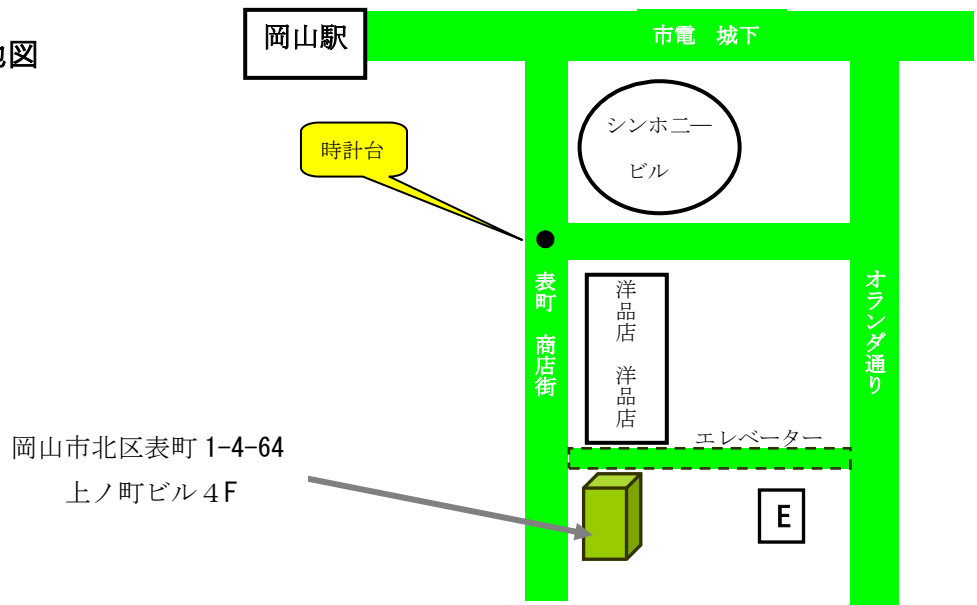
お問合せ 花谷 幸芳  
携帯 080-1908-3861

きびの会 居場所・行事カレンダー

6月

日	月	火	水	木	金	土
1 休日	2 居場所	3	4 居場所	5	6 居場所	7 父親学級 居場所
8 定例会	9 居場所	10	11 母親学級 居場所	12	13 居場所	14 家族教室
15 休日	16 居場所	17	18 居場所	19	20 ポレポレ 居場所	21 松田先生 居場所
22 休日	23 PC 教室 居場所	24	25	26	27 居場所	28 若者学級 居場所
29 休日	30 居場所					

きびの会 居場所 地図



家族教室 (原則)第2土曜日 午後 1 時半 ~ 4 時 担当:西紀子さん

松田相談日 (原則)第3土曜日 午前 9 時 ~ 午後 6 時 担当:松田勝カウンセラー

ご予約:中西 電話 090-9500-9618 または 086-955-2857

料 金:会員は 1 時間 3,000 円 ※定員 8 名とさせていただきます

パソコン教室 原則第4月曜日 午前 10 時~12 時30 ワードとエクセルを中心に、原田講師が丁寧に対応します

お問い合わせ:花谷 電話 080-1908-3861

平成 12 年 9 月 20 日 第 3 種郵便物認可 (毎月 25 日発行) 平成 26 年 6 月 22 日発行 OSK 増刊通巻 202 号  
発行所 岡山障害者団体定期刊行物協会 702-8025 岡山県岡山市南区内尾 739-1 綾部小百合 (TEL 086-263-7537)

無断での掲載、転写は禁じます。(定価 100 円は会費に含まれています)